

会 議 録

会議の名称	第3回第2期笠間市教育振興基本計画策定委員会 議事録		
開催日時	令和4年2月28日（月） 午後1時30分～午後2時55分		
開催場所	笠間市役所行政棟 2階 庁議室	事務局	教育委員会教育部学務課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	0人
出席者	出席委員：伊藤哲司委員長、松橋義樹委員副委員長、鈴木宏一委員、川崎幸良委員、小泉秀人委員、荒川千恵子委員、矢口典子委員、御子柴和之委員、和賀誠委員、山根将大委員、南秀利委員、町田満委員、大月裕美委員 【13名】 事務局：4名		
議 題	第3回第2期笠間市教育振興基本計画策定委員会		
議 事 （審議経過及び発言内容）			
【配付資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2期笠間市教育振興基本計画（案） ・第2期笠間市教育振興基本計画（案）の市民意見等の概要及び各意見等に対する市（教育委員会）の考え方について（資料1） ・策定委員・教育委員・庁内意見等まとめ（資料2） <p>1. 開会</p> <p>2. 策定委員会委員長あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">（1）第2期笠間市教育振興基本計画（案）の市民意見等の概要及び各意見等に対する市（教育委員会）の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料に基づいて説明を行った。 <p>【質問・意見等】</p> <p>委員長：この回答で基本的にはいいと思うが、意見を寄せてくださった方が肩透かしにならないよう、どこがということではなく、一般的な話としてフィードバックが必要かと思う。</p> <p style="padding-left: 2em;">（2）第2期笠間市教育振興基本計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料に基づいて説明を行った。 <p>【質問・意見等】</p>			

委員：3ページ第2章の3段落「学校・家庭・地域のつながり・協働が重要である」となっているが、「つながり」より「連携」というのが意味合いが強いのかなと思う。

委員：私も一般的な言い方は「連携・協働」だと思うが、「茨城県においては」というところで、県でこのような表現をしているのであれば、それを変えるとまずいと思うので、そこを確認したほうがいいのかと思う。

委員長：県のほうの表現に合わせるということで事務局もよろしいですか。

事務局：そのように対応します。

委員：13ページ、20ページ、23ページの表の割合の表記が小数第2位になっているが、他は小数第1位なので基本的には小数第1位で問題ないだろうと思う。

委員長：私も有効数字が2桁まで書くほど意味はないかと思う。ここはそのように修正ということでよろしいか。

事務局：はい。修正します。

委員：24ページ「アンケート調査結果のまとめ」だが、アンケートでは「就学前教育について」というアンケートをとりながら、「幼児教育」となっている。これは「就学前教育」にしたほうがいいのかと思う。あと「生涯学習・スポーツ振興等」とあるが、20ページ(4)のタイトルが「生涯学習・文化活動・スポーツ振興について」となっているので、24ページも「文化活動」が入るかと思う。

委員長：そのまま同じ表記にしたほうが分かりやすく、ご指摘どおりかと思う。事務局もよろしいか。

事務局：はい。

委員：23ページ「(5) 公民館・図書館について」アンケートのまとめがない。

事務局：「生涯学習・スポーツ振興等」に含めてまとめさせていただいている。

委員長：読み手からすると一致しているほうが分かりやすい。文言を合致させるか、また(1)(2)がついているので、その番号も落とさないほうがいいのかと思う。できる限り混乱しないような表記でまとめるということで、あとは事務局にお願いするということがよろしいか。

事務局：はい。

委員：「幼児教育」の中で「幼児期の子どもとの関わりがとれている割合のほうが多い」と書かれているが、何と比べてるのか疑問に思う。

委員長：7割という数値の逆にいうと3割はそうではないということかと読みとったが。

事務局：そのとおりです。12ページ「アンケート調査結果」の説明にもあるが、アンケートについては、児童生徒、保護者、教職員の学校関係の部分と、この就学前の部分については、「市民実感度調査」といって、担当課は別になるが、市民の方に対してどのように感じているかという実感度調査を行ったものになっており、13ページの結果は教育振興基本計画に対してのアンケートより細かく数値は出てこない。この就学前の部分については、このように実感している、実感していないという大まかな数字にどうしてもなってしまうのでご了承いただきたい。

委員長：そのようなことでよろしいか。

委員：はい。

委員：27ページ「教育の基本方向」ですが、これは「施策の基本方向」ですね。28ページ「施策の体系」をみると教育目標の隣が施策の基本方向になっている。27ページの「2教育の基本方向」の下の文も「施策の基本方向」という表現がでてくる。

事務局：ご指摘のとおり修正する。

委員：基本的な考え方の3つの教育目標というところで、言葉の定義として目標ではないのではないかと思う。基本的な考え方は理念ということではないか、27ページの3つが目的になるのかと思う。いきなり目標というのはどうなのか。

委員長：理念があって目標や目的、順序としては理念が一番上ですね。

事務局：計画書の1ページをご覧ください。「2計画の構造と位置づけ」の図の真ん中に記載がある「第2次教育施策大綱」、教育目標と施策の基本方向というところで、笠間市の総合教育会議というものがあり、構成員が市長と教育委員の5名で、その中で法的に大綱を作成しなければならないという法律改正が平成27年にあった。それを受けてその教育会議において、この教育目標と施策の基本方向を定めており、この部分については計画でそのままそっくり整合をとっている部分です。そのためこの部分についてはもっと上位のがあるので修正するというところは難しいところです。

委員長：ここで私たちが変えるわけにもいかないということですね。

委員：53ページ「今後の方向性」1番目に「生涯学習ニーズが多様化する中」という文言の中にリカレント教育等の見直しを図る施策を行うという「リカレント教育の推進」も入れてほしい。生涯学習は子どもばかりではないということをおきたい。

委員：リカレント教育という言葉を知らない方がすごく多いと思う。入れるとすればその言葉の説明が不可欠だが、社会人の学び直しということで、大学とか専門学校等企業との連携でタイムリーな話ではあるが、説明が必要だということと、恐らくこの施策の方針4を読む限りでは、全ての市民に対して検討していただいていると思う。そうすると、今指摘のあった「今後の方向性」1つ目の新規講座や既存講座の対象もそのような方向性で書かれていると思う。そこにリカレント教育という言葉を入れてしまうと、かえって分かりにくくなってしまうかと思う。ご指摘の趣旨はよく分かるし重要だと思うがここで入れるのはどうかと思う。

委員長：入れるにしても補足説明が当然必要だろうということ、リカレント教育という言葉はどこかで使っているのか。

事務局：使っていない。

委員長：事務局の見解としてはいかがか。

事務局：リカレント教育については、企業や大学と連携して教育を行っていくということなので、現在の笠間市の生涯学習課では大学との連携は若干ですが、企業との連携は基本的にはできていない状況なので、あえてここで新規でリカレント教育を載せるのは難しいかと考えている。この中で新規講座の中に含みで、今後検討していくということで考えていきたいと思いますのでご了承いただければと思う。

委員長：ここにいきなりリカレントというのはちょっと難しいということで、これはこれでいきたいと思うがよろしいか。

各委員：(了承)

委員：65ページ(3)スポーツ施設の整備充実の部分で、一番下、「笠間芸術の森公園スケートパーク」とあるが、笠間市とネーミングライツを交わしているのので、「ムラサキパークかさま」といれていただきたい。67ページは「ムラサキパークかさまの活用」と書いてある。

委員長：②スポーツコミッションの活動推進の部分で、「ムラサキパークかさま」と入れて、分からない場合は括弧して「笠間芸術の森公園スケートパーク」というような形で入れていただくとうれしいと思ったが、事務局はいかがか。

事務局：はい。修正します。

委員：64ページ「ホストタウン推進事業」支障がなければ下のところにどこの国なのか相手の国名を入れてもいいのかと思うがいかがなものか。

事務局：64ページ2行目に記載してある。

委員：82ページ、58番「電子図書館貸出点数」で関係各位からの意見の対応で追記した部分だが、書籍の貸出のことが詳しい人間ではないが、令和2年度実績が1,700点で令和8年度が25,000点、この目標値が現実的なかわからない。15倍ぐらい増やすことになるので、令和8年度はかなり先の話ではあるので、読めない部分もあるが、この目標値については、どのような計算というか基準で設定したか説明していただけるとありがたい。

委員長：他と比べてみてもかなり数字が大きい印象を持つがいかがか。

事務局：細かい部分はわからないが、5年先をみて無理のない可能な数値目標として出してもらっている。これから飛躍的に伸びるだろうということでこのような数値となっていると思うが、詳しい根拠が説明できず申し訳ない。補足として、電子図書館については、令和2年度から始まったところで、今後の活用については小中学校貸出も普及させていく予定であるため、このような目標設定値にしている。

委員長：数値目標を見ていくと、かなり控えめなものもあったりいろいろだなと思う。それぞれの事情があるので一概には言えないが、例えば、48番「スポーツ少年団指導者の有資格率」が基準値69.6%、目標値が70.0%、もうちょっと高くてもいいのかと思うが、これでいいですね。数値目標については前回も発言したが、それを達成することが目的化してしまうと変なことになってしまう。使い方次第かなと思うが、有効な使い方をするのがいいかと思う。

委員：84ページ「第5章計画の推進」の下から2行目で、「事務事業の見直しや課題等の改善、新規事業の立案につなげ」となっているが、「新規事業の企画・立案」にしてほしいなと思っている。

委員長：委員の皆様はいかがか。

各委員：(了承)

委員長：事務局としてはいかがか。

事務局：ご意見のとおり修正する。

委員：60ページ「文化財の保護と活用」現状と課題の1行目、市内には150件、指定文化財の内訳について触れたい。県内の市町村の中で文化財が非常に多い。県内で3位ぐらいの文化財の多さで、年々文化財も増加していて、笠間市は文化財の非常に豊富な市だといえると思う。これらは、子どもたちにもどんどん知らせながら、理解を深めていけたらいいかなと思っている。

委員長：今の意見の内容はわかったが、追記したほうがいいという意見ですか。

委員：そういうわけではない。

委員長：その他全体を通して何かあるか。

委員：様々な意見が出たが、意見をいただいた中で、ここはこのように修正しますではなく、少し余裕をもって持ち帰って全体で考えを統一したほうがいいと思う。あそこではこう言ったというふうに追及されると立場もつらくなる。決して適当にやれという意味ではない。貴重な意見ですから。こういう意見があったので教育委員会に帰って検討したがこれはどうしても駄目だということも絶対あると思う。そういう少しの幅をいただいとかないと、この前の会議ではこういって、この文章が直ってないんだと追及されると、行政のほうが

つらくなる。その辺は皆さんも共通理解で、ここで言ったら絶対そうしなければ駄目だという会議ではないと思う。

委員長：私もそのとおりだと思う。委員の皆さんもそういうご理解でお願いしたい。

各委員：(了承)

委員長：委員会としてこの基本計画は細かい文言の修正、あるいは追加等の意見はあったが、内容を大きく変更するといった意見はなかったと思うので、基本的にはこれを認めるという採決をすることになる。最終的な細かいところの調整はありうるかと思うので、そこは事務局に任せるということも含めてこの計画を委員会として原案どおり可決するという事によろしいか。

各委員：(承認)

委員長：それでは異議なしと認めて、この第2期笠間市教育振興基本計画（案）については、原案のとおり可決とさせていただきます。

4. その他

(1)今後のスケジュールについて

・本日の策定委員会で、一部修正させていただく部分はあるが、この計画で承認いただいたので、今後、庁内会議、教育委員会での議決をいただき、策定ということで進めさせていただく。今日いただいたご意見に対しましては、修正部分を一覧表にして、修正したものを委員の皆様へお送りさせていただきます。

5. 閉会

・小沼教育長に代わり事務局より、最後の委員会ということでお礼の挨拶を行った。

以上